

免償について —償いの連帯として—

名古屋教区司教 松浦悟郎



12月8日より、「いつくしみの特別聖年」が始まりました。聖年には特別な祈りや巡礼などがあり、また免償が与えられることになっています。

しかし、免償については複雑な歴史があり、またルターによる宗教改革の原因の一つになるなど、逸脱や誤解もあり、必ずしも正しく理解されているとは限りません。

そこで、この免償について正しい理解と現代的意味を司祭の月集で確認しました。また、教皇フランシスコの免償についての「書簡」*も多くの示唆を与えてくれるものです。

私はこれらに基づいて、免償の意味と名古屋教区での実施のための心構えについてお伝えしたいと思います。

免償の意味

- ① 罪を犯すことは、神に対する、また共同体に対する関係を傷つけることです。その意味で、赦されるということは「共同体との関係を修復し和解すること」を意味します。そのため、罪を犯した人は回心するだけでなく、傷つけられた人が受け入れても良いと思える償いを果たさなければなりません。その償いの一つの道として「免償」に定められた具体的な行為を行うことができます。
- ② 回心と償いは本人だけでなく、共同体もその歩みを共にすることができます。「免償」に定められた巡礼や祈りをささげることで、過ちを犯した自分を含め、世界の罪深い現実に対する「償いの連帯」の一つとなります。その連帯は、償いを十分に果たさずに亡くなった人のためにもなされることです。
- ③ 現在の赦しの秘跡で償いよりも赦免が先にあることにも大きな意味があります。いつくしみ深い神の赦しに支えられるからこそ、関係修復(和解)のための償いの道を希望を持って歩むことができるからです。
- ④ 人間は、神から赦されても罪への傾きの現実はなくありません。したがって、免償という形で償いの道を果たし続けることができるのです。

以上のことを踏まえ、名古屋教区としては以下の要領で免償を受けとめたいと思います。

1. 指定教会への巡礼

名古屋教区では、「いつくしみの特別聖年」の間、各ブロックに一巡礼教会を定めました。そこを訪れ、教皇の「書簡」に基づき、「免償」のため、すなわち自分の償いと他者のための償いの連帯のために、以下の二つのことを行います。

- ① 赦しの秘跡や感謝の祭儀にあずかる。
- ② それらの秘跡の中で信仰を告白し、教皇のため、また教皇の意向のために祈りをささげる。

2. 平和の巡礼

苦しみの連帯
教会だけでなく、平和の巡礼地(広島、長崎、沖縄、アジア諸国)や苦しみの中にある人々(東日本大震災・原発被災者など)の現場を訪れることも巡礼となります。

償いの連帯
戦争や犯罪、貧困や自然破壊などを生み出す人類の罪の償いの連帯として平和の巡礼を行います。

3. 病者や高齢者の巡礼

病者や高齢のために家から出られない人々も巡礼ができます。その巡礼とは、主の受難、主の復活の神秘において、私たちの痛みと孤独に意味を与える主と共に、病と苦しみをささげ、ご聖体を拝領し、教皇の意向に従って祈ることです。

歴史的背景

初代教会では、重大な罪を犯した人は、回心し、償いを果たさなければ、赦されて共同体に迎え入れられることはありませんでした。共同体の信徒たちは、その人が一日も早く償いが果たされ赦されるよう悔悛者のために祈り、支えることができました。

中世になって、個別の赦しの秘跡が行われるようになったとき、悔悛者は先に赦しを与えられ、その後で償いを果たすことになりました。その償いは、罪の種類によっては長期にわたる、苦痛を伴う厳しいものでした。やがて、同等の別の償いに代えたり、他の人が代わりに償いを果たしても良いとする慣例が生まれました。

やがて悔悛者による巡礼、苦行などの償いを、金銭の寄付に代えてもよいという考えが生じ、免罪符(贖宥状)の発行もされるようになりました。

日本語の「免償」という言葉から、償いが祈りや巡礼などによって「免除される」という意味合いが印象づけられてしまい、本来の意味が伝わりにくいという問題もあります。

教皇フランシスコの免償についての「書簡」* = 「いつくしみの特別聖年」に際して与えられる特別免償に関する書簡(2015年9月1日)(カトリック中央協議会ホームページ参照)(編集部注)

「住職と共に祈る感動」 「この世の栄光と神の栄光の対比」

栄国寺・殉教者祭で松浦司教



松浦悟郎司教が名古屋教区長に就任後、初めてとなる栄国寺での教区殉教者祭が2月6日、キリシタン顕彰碑前で開かれ、松浦司教の主司式、野村

純一名誉司教と10人の司祭の共同司式によって行われた。

松浦司教はミサの説教で「栄国寺の境内で住職と共に祈ることができて感動している」と心情を率直に表明した。キリスト教が認められなかった江戸時代に、尾張藩主によって栄国寺が建立され、維持されたことに感謝しつつ、「仏教とキリスト教が深い祈りにつながって今、自分たちが共に立っている」と喜びを語った。

さらに、「この世の栄光と神の栄光のコントラストがここに現れている」と感じた」とも述べた。

栄国寺が建てられた千本松原の地は、織田信長が桶狭間の合戦で勝利を得た記念に千本の松を植

えた土地で、のちには処刑場とされていたところ。200人を超えるリリーダー格のキリシタンたちがここで殉教した。

松浦司教は「ここは戦争に勝つというこの世の輝かしい栄光を表す場所でもあったが、キリシタンや罪人が処刑されていったところでもある。しかし、あのキリシタンたちの死は、神の栄光を表す死だ」と述べ、その意義を説いた。

「キリストは犯罪人として処刑された。罪人と共に十字架の上で殺された。キリストは彼らのためにこの世に来た。だから、『あなたは今日、わたしといっしょに楽園のために血を流し、命をささげた』

「キリストの死も、キリストの死と同じ。わたしたちはこの世で幸せになりたい、力を得たいと思うが、それよりもっと大切なものがある。殉教者は命を取られても捨てられないものがあることを示した」

「今の世界は力の強いものが暴力で弱いものを圧倒するが、わたしたちは殉教者の示したものをたずさえて歩いていきたい」

ミサに続いて、栄国寺の若松一雅(かずまさ)住職と松浦司教がそろってキリシタン殉教碑に献花し、皆も献花に並んだ。ミサ献金はキリシタン顕彰碑を維持・管理してくださる栄国寺に全額託された。

若松住職はあいさつ

た。参加者はこれまでで最も多い170人以上を数えた。ロザリオの祈りに続いて殉教者顕彰ミサが、松浦司教の主司式、野村

「キリシタンの死も、キリストの死と同じ。わたしたちはこの世で幸せになりたい、力を得たいと思うが、それよりもっと大切なものがある。殉教者は命を取られても捨てられないものがあることを示した」

「今の世界は力の強いものが暴力で弱いものを圧倒するが、わたしたちは殉教者の示したものをたずさえて歩いていきたい」

聖香油ミサ

日時 3月24日(木) 午前10時30分
場所 カトリック布池教会大聖堂
主司式 ミカエル松浦悟郎司教

で、顕彰碑の横にあるひびの入った古い石塔について説明し、先の大戦で名古屋空襲の時に被爆して割れたが、割れ目がきれいだっただけで、そのまま貼り付けて修復することができたとの逸話を披露した。



「聖週間を生きる」
毎日の黙想・受難と復活節の人物とともに

さまざまな状況の中で、聖週間の典にあらずかない人々のために考えられた、受難の主日から復活節までの福音朗読箇所と黙想の導きを一につにした祈りの手引書。



「イースターのはなし」
堀口順子
ド・ボスコ社
1,080円(税込)

「クリスマスの話」で大好評の、アリーダー・マツサーリに基いたイースター・キリストの受難と復活の物語を、まるで画集のように美しい絵と文で伝えます。



「最初の復活祭」

絵: クリスティーナ・カライ・ナギエ
文: ペサン・ジェームス
訳: サンパウロ
サンパウロ 1,296円(税込)

イエスってだあれ?
最初の復活祭ってなあに?
この本には小さい子どもたちのためにかわいらしいイラストとやさしい文章で復活祭の出来事がわかりやすく書かれています。



「いーすたーのおはなし」
ジュリエット・デービット
ステイブ・ホワイトロウ
女子パウロ会 972円(税込)

毎年、春に巡ってくるイースター(復活祭)ってどんな日? とても大切な、この日の意味を知らせるために役立つ、とってもかわいい絵本です。

名古屋
教区ニュース

第355号

2016年 3月

〒461-0004

名古屋市東区葵2丁目6-35

カトリック名古屋教区広報委員会

「教区ニュース」編集部

電話 (052) 935-2223

FAX (052) 935-2254

印刷所 株式会社 荒川印刷

毎月第1日曜日発行

四旬節
愛の献金
2/10~3/24

世界青年の日
3月20日
(受難の主日)

3月25日
聖金曜日
(大斎・小斎)
聖地のための
献金

3月27日
復活の
主日

教区ホームページ

福音のひびき

3月の説教者

6日 四旬節第4主日
北向 修一
(春日井教会)

13日 四旬節第5主日
チャン・ヴァン・ビン
(瀬戸教会)

20日 受難の主日(枝の主日)
暮林 響
(神言修道会)

27日 復活の主日
アーノルド・ブルム
(安城教会)

修女連

修道者の役割考える

喜びと希望もつて未来に向かう

名古屋教区女子修道会・在俗会連盟は2月11日、布池教会信者会館...

33節「イサクの井戸」を思い起こそう。「井戸掘りのコツを覚え、それを忍耐強く実行...

修道会とは各時代の必要に依ってそのカリスマを生きたのであるが、その使命を終え、存続にしがみつくとなく、閉じることもありうる。



松浦司教、市民団体の講演会で

友好関係積み重ねる

憲法9条の心使って

松浦司教、市民団体の講演会で

名古屋市昭和区の市民団体が主催する「宗教者が考える日本のこれから」と題する講演会で松浦司教が講演した。

「テロのターゲットになっているのは軍事力のあるところであり、国の守り方は軍事力ではない」として、吉田茂首相の「友だちをつくること...

その原点は、イエスの生き方とそれに従う弟子たち。現代は戦後よりもはるかに複雑かつ深刻な状況にあるが、このような時代...

典 礼 研 修 会

過 越 の 聖 日

第43回教区典礼研修会が2月11日、南山教会マリア館ホールで開かれた。

「主の晩餐の夕べのミサ」「主の受難の祭儀」「復活の聖なる徹夜祭」について...

「聖なる徹夜祭」についてその歴史的な起源と変化、特に50年代に始まった聖週間の改革から始まった。...

ミサでは、「ゆるしの奉献文」を用いた。試みとして奉献文を結ぶ楽唱で小鐘を振ったところ、...

人事

2016年度第一次・2月5日付発表 (カッコ内は前任地など) <異動> 押切主任(岡崎) 島袋幹男/東山主任(押切) 伊藤大有/名東主任(主税町記念館) 野村純一/鳴海緑ヶ丘助任(新司祭) 増田健二/クラレチアン修

道会

高蔵寺主任(東山) 椎尾匡文/岡崎主任(高蔵寺) 早川努/富山プロック助任(富山・魚津) 高岡・小矢部) 片岡義博(二宮)

教区外転出

大阪教区へ(緑ヶ丘) フラデラ・アントニオ・クアラレチアン修道会 (引退) 五味巖(名東)

2000万人「戦争法の廃止を求め 統一署名」へのご協力をお願い

司教団は『戦後70年司教団メッセージ』において、「教会は人間のいのちと尊厳に関する問題に沈黙できない」と宣言しました。

要約筆記者の養成集中講座

来る8月27日~28日の2日間にわたり「第11回日本カトリック聴覚障害者の会名古屋大会」が名古屋教区内で開催されます。

第12期 聖霊病院ホスピスボランティア講座のご案内

定員 16名(定員になり次第締め切り) 会場 聖霊病院 二号楼アーノルド館4階 第3会議室 講座 20時間(基礎講座修了が条件です) 聖霊病院においてボランティア体験:1年間60時間以上...

第25回 聖霊病院ボランティア基礎講座

対象 1.これから当院でボランティア活動を希望される方 2.当院でボランティア活動をしている方で、まだ受講されていない方 3.当院のホスピスボランティア講座受講を希望される方...

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会 (1) 発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金の会計報告 (2011.3.17~2016.1.31) (収入) 小教区等からの支援金総額 24,241,514 (支出) カリタスジャパンへ振込 9,500,000...

関わりの中から生まれる「いのち」

ホスピス医・細井順さん

「患者さんは医療者、特に医師と話したがって

「患者さん」などとわがやの「ちゃん」と最後に「お母さん」と呼ぶ。患者さんには、生きていることに誇りを感じてほしい。患者さんには、生きていることに誇りを感じてほしい。患者さんには、生きていることに誇りを感じてほしい。

「目をそらすな」

生と死に関わる一家の物語

「目をそらすな」という北出さんの言葉には、生き物の生死に関わる者としての重みがあった。

映画はその冒頭から強烈な屠畜シーンを映し出す。「このシーンから目を逸らせてはいけません」

大阪・貝塚市の北出さん一家は江戸時代から続く精肉業。映画は家族の生活と仕事を記録する108分におよぶドキュメンタリーだった。

2年もの間、手塩にかけて育てた牛を屠場に引いていき一撃を与えた瞬間、つまり家畜としての牛が食肉の原材料となった瞬間、牛の飼い主から牛肉を解体する「職人」



上映前、部落問題に取り組む関係者たちのあいさつ。

カトリック通信講座

1972年開設以来の信頼と実績。『聖書入門Ⅰ』のコラムには、Sr. 渡辺和子も登場。2015年春に「幸せな結婚」のテキストをリニューアルしました。

〈全7講座〉

- T001 キリスト教とは
キリスト教の概要
- T002 聖書入門Ⅰ
四福音書(イエスの生涯)
- T003 キリスト教入門
秘跡や信仰生活(洗礼準備にも)
- T004 神・発見の手引
人生、自然を通して神へ
- T005 聖書入門Ⅱ
使徒言行録・書簡・黙示録
- T006 幸せな結婚
結婚の意味や愛、幸福
- T007 生きること・死ぬこと
命に関する問題

詳細はホームページをご覧ください。

〈受講料〉(教材費・税込)
T001~T004 各4800円 T005~T007 各5300円

〈お申込み〉
郵便振替用紙にご希望の講座名・講座番号(T001~T007)をご記入のうえ、下記にお振込みください。入金確認後教材をお送り致します。
振替口座番号: 00170-2-84745
加入者名: オリエンズ宗教研究所

〈お問い合わせ〉
オリエンズ宗教研究所 カトリック通信講座
Tel: 03-3322-7601 / Fax: 03-3325-5322
詳細はホームページをご覧ください。



「いのち」

「生きたい患者を生かすことができない」一方で、「どんな理由であれ早く死にたい患者を死なせることもできない」。

現実にはできることは、患者と医師の「できない」者同士が、沈黙とオウム返しを繰り返す中、共にいて、人間としての時間共有することだけ。そこに「お互いさまと呼びあう「いのち」が生まれる。「できない」につき合うこと、これが一番の救いになっていくのではないか。「だいたいよ、ちゃんといふから見てから」だけが言葉となつて出てくると言う。

ホスピスで生まれ、生き続ける患者と医療者たちの関わりには希望があり、それぞれの患者のいのちが生き継がれていくものとなる。

講師は自分ががんに罹ったことを知り、自分の生き方を見つめた時、「ホスピスで死ぬるので安心」と語る。

今もホスピスで一人ひとりの「いのち」と出会

い、向き合い、共に生きる。

「出会った人の「いのち」につながるって生かさず、生きたくないでいます」と結んだ。

細井さんはホスピス希望館の日々を追ったドキュメンタリー映画「いのちが一番輝く日」あるホスピス病棟の40日」を共同制作。著書には『こんなに身近なホスピス(風媒社)』、『死を恐れないで生きるーがんになったホスピス医の人生論ノート』(いのちのこぼ社)、『希望という名のホスピスで見つけたことーがんになったホスピス医の生き方論』(いのちのこぼ社)がある。

(聖霊病院
カトリック社会事業室)

御父のいつくしみに支えられて

曜日	時間	講座名(講師)	対象	教室	内容	開講日
月	14:00~16:00	墨を愉しむ(筆・ペン)(和香) ※有料講座	学生・一般	ロゴスセンター No.12教室	「書く」「描く」個性豊かに実用から創作まで文字との一期一会。第1・3月曜日	4月18日
	17:00~18:30	スペイン語でバモス(Vamos!)(暮林神父)	学生・一般	ロゴスセンター 図書室	スペイン語をある程度知っているみなで、わいわい、がやがや、スペイン語でしゃべる時間です。ちょっとした言い回し、使ってみて通じるかな?というのをサポートしながら学んでいきましょう!	4月11日
火	10:40~12:00	カトリック教会のカテキズム(枝村神父)	学生・一般	神言神学院 第1教室	刷新された『カトリック教会のカテキズム』に準拠しながら、カトリックの教理を学び直し、日本文化におけるインカルチュレーションについても考える。	4月5日
	13:00~18:00	小原流いけばな教室(フラワーデザインアレンジメント併設)(関川さち)(雲雲) ※有料講座	学生・一般	ロゴスセンター No.12教室	華道の歴史を指導ポイント 四季のおり、時の花と語らい貴女の心の作品をいけてみてはいかがですか!(見学可)	4月5日
	14:00~15:00	インドネシア語会話(Br. ジャスティン)	学生・一般	ロゴスセンター No.13教室	Membaca dan Berbicara Bahasa Indonesia. インドネシア語、読みと会話、そして音楽。	5月10日
水	15:00~16:30	韓国語会話(李仁花)	学生・一般	ロゴスセンター No.12教室	韓国語の会話、文化、慣習を学びます。	4月6日
	16:00~17:30	キリストの教え(石橋神父)	学生・一般	ロゴスセンター 図書室	「カトリック教会の教え(カテキズム)」または「カトリックの教え」と聖書にもとづいてキリストの教えについて語り合う。	4月6日
木	10:30~12:00	English Bible Reading(シーランド神父)	学生・一般	ロゴスセンター No.12教室	英語で新約聖書を読んでいます。毎週木曜日	4月14日
	12:30~14:30	パイプオルガン講座(桜井権) ※有料講座	学生・一般	ロゴスセンター 地下聖堂	神を賛美するのに最もふさわしいとされる楽器、パイプオルガン... 聖らかなアフタヌーンをご一緒に!	4月14日
	18:30~21:00	青年のためのキリスト教入門(暮林神父)	学生	ロゴスセンター ホール・食堂・教室	気のよい仲間たちと一緒に歌や食事を交えながら、人生について、生き方について、キリスト教について問いかけてみる時間です。	5月12日
金	10:40~12:00	カトリック教会のカテキズム(枝村神父)	学生・一般	ロゴスセンター No.12教室	刷新された『カトリック教会のカテキズム』に準拠しながら、カトリックの教理を学び直し、そのインカルチュレーションについても考える。	4月15日
	13:30~15:00	Parler et comprendre le Français en peu de temps フランス語(Munsi 神父)	学生・一般	ロゴスセンター No.13教室	Conversation Française・Lecture Française Composition (rédaction) Française	4月15日
	15:30~18:30	和楽器講座 尺八:山田直人、箏・三味線:竹田和子 ※有料講座	学生・一般	ロゴスセンター No.12教室	和楽器(尺八・箏・三味線)を練習します。楽器は講座で用意します。音楽のジャンルを限定せずに練習できます。(体験期間は無料) ※4月15日は休講です。	4月8日
土	11:00~12:00	Conversação em Português ポルトガル語(Domingos de Sousa 神父)	学生・一般	ロゴスセンター No.12教室	日常的なトピックを題材にしつつ、ポルトガル語の文法と会話の基礎を学ぶ。	4月9日
	11:00~12:30	リコーダーアンサンブル風詠(西脇良神父)	学生・一般	ロゴスセンター 図書室	ルネッサンス期・バロック期の作品を中心にアンサンブルを楽しみます。ご関心のある方は、rmishiwk@nanzan-u.ac.jp までご一報ください。	4月下旬

※ミサ: 日本語/月曜~土曜 毎朝8:00~、英語ミサ/毎週土曜日19:00~、スペイン語ミサ/毎月第1日曜日11:00~、フランス語ミサ/毎月第3日曜日10:00~、ポーランド語ミサ/毎月第2・4日曜日10:00~
★変更する場合がございます。事前にご確認ください。

東日本大震災犠牲者 追悼・復興祈願のための 祈りと合唱の集い

日時 3月6日(日) 15:00~16:30 (開場14:30)

場所 カトリック南山教会 聖歌隊 南山大学スコラ・カントールム 合唱団 CANTUSNOVA (賛同団体)

曲目 A Clare Benediction (Word and Music: John Rutter)
Do not be afraid (Word: Gerard Markland/ Music: Philip Stopford)
祝福の歌(作詞作曲:高橋晴美)
混声合唱曲「夜明けから日暮れまで」(作詞:和合亮一/ 作曲:信長貴富) 他

問合せ 南山大学文学部キリスト教科学科合同研究室 ☎052-832-3111 南山大学スコラ・カントールム 西脇 (mail@nanschoxii.jp)

高田三郎 帰天15周年記念ミサ

日時 4月17日(日) 16:00

場所 カトリック南山教会 西脇 純 神父

指揮 須賀敬一

オルガン 木島美紗子

合唱 平和の祈り合唱団/ 東海メルクワイアー/ 高田典礼聖歌男声合唱団

曲目 典礼聖歌「おお 神の富」「谷川の水を求めて」「ちいさなひとびとの」「平和の祈り」「来なさい 重荷を負うもの」ほか

問合せ 〒457-0012 名古屋市中区 菊住町2-8-13 「高田三郎帰天15周年記念ミサ」実行委員会

主催

めぐみカンガンバル!!

.....by あこ

肥常気象のせい？
異常な気象で木の根が腐りやすくなるから、剪定を早めて、水をたっぷりと与えよう。

減野遊びも来た
減野遊びも来た。木の根が腐りやすくなるから、剪定を早めて、水をたっぷりと与えよう。

木は思った
木は思った。木の根が腐りやすくなるから、剪定を早めて、水をたっぷりと与えよう。

問題土だ
問題土だ。木の根が腐りやすくなるから、剪定を早めて、水をたっぷりと与えよう。

あれ？
あれ？木の根が腐りやすくなるから、剪定を早めて、水をたっぷりと与えよう。

私たちが庭に咲く
私たちが庭に咲く。木の根が腐りやすくなるから、剪定を早めて、水をたっぷりと与えよう。

春はすぐそこ
春はすぐそこ。木の根が腐りやすくなるから、剪定を早めて、水をたっぷりと与えよう。

3月の教会暦

4日(金) 5日(土) 主に捧げる24時間
6日(日) 四旬節第4主日
13日(日) 四旬節第5主日
17日(木) 日本の信徒発見の聖母(祝)
19日(土) 聖ヨセフ(祭)
20日(日) 受難の主日(枝の主日)
世界青年の日
21日(月) 名古屋教区司教座聖堂献堂記念日
24日(木) 聖木曜日(主の晩餐)
25日(金) 聖香油ミサ
聖金曜日 主の受難(大斎・小斎)
聖地のための献金
26日(土) 聖土曜日 復活徹夜祭
27日(日) 復活の主日

4月の主な教会暦(主日・祭日など)

3日(日) 復活節第2主日
(神のいつくしみの主日)
4日(月) 神のお告げ(祭)
10日(日) 復活節第3主日
17日(日) 復活節第4主日
世界召命祈願の日
24日(日) 復活節第5主日

教区行事予定 (* 松浦司教)

1日(火) 信徒協ノヴェナ(9日間の祈り)開始
4日(金) 世界祈禱日
5日(土) 濃尾B会議
8日(火) 樹の会
11日(金) 東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願行事*
12日(土) 13日(日) WYD in 名古屋*
13日(日) 三河B会議/教会学校教師

15日(火) 会/教区中高生会 JCN A
18日(金) 社会福祉委員会
19日(土) 難民移住移動者委員会 レジオ・アチエス
20日(日) 城東B会議/城北B会議
23日(水) 24日(木) 一日神学生の集い
28日(月) 30日(水) 中高生会春のフォーラム
29日(火) 教区顧問会*
31日(木) 教区法人評議員会*
4月 2日(土) 信仰教育委・秘跡神学①
3日(日) 宣司評常任委員会*
6日(水) 信徒協献金日
9日(土) 家庭委・高齢を生きる①
10日(日) 信徒協理事會
安城教会聖信式/教区中高生会/修女連誼会*
12日(火) 樹の会
14日(木) 教区顧問会*
16日(土) レジオ名古屋クリア
17日(日) 愛岐B会議
19日(火) 信徒協委員総会*
JCN A
21日(木) 月集*
22日(金) 愛岐B女子錬成会/青年委員
29日(金) 宣教司牧評議會議総会*
30日(土) 典礼委員会
3月 3日(木) 教区行事以外の松浦司教予定
7日(月) 8日(火) 子供と女性の権利擁護のため
7日(月) 8日(火) 社会司教委員会
日韓司教交流会打合せ

建設費の返済に協力を

544件 27,307,231円
目標額 40,000,000円 (1月末)

達成率 約68.2%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

東日本大震災 犠牲者追悼・復興祈願ミサ

～私たちは3.11を忘れない！これからも～
日時 3月11日(金) 14:00～16:00
会場 カトリック布池教会

プログラム
13:00 被災地物産展&サロン
14:00 復興支援活動のあゆみ DVD
14:40 司教ミサ (14:46 黙祷)
16:00 被災地物産展&サロン

問合せ 実行委員会事務局 ☎052-936-8366
主催 カトリック名古屋教区

告知板

19日(土) 神言会助祭叙階式(神言神学院)
22日(火) 南山学園評議委員会
4月 12日(火) 難民移住移動者委員会

◆3月の炊き出し
木3日一宮、10日東海・樹の会・南山、17日聖霊・樹の会・南山、24日城北橋、31日布池
金4日喜望の会、11日布池、18日南山、25日南山

福信館便り ☎052(935) 7180

聖霊病院70周年記念講演会

テーマ いのちへのまなざし
—激動する世界にあって—
講師 松浦悟郎 名古屋教区司教
日時 3月5日(土) 14:00～15:45 (開場13:30)
会場 聖霊病院 2階聖霊ホール
*事前申込み不要
主催 聖霊病院創立70周年記念 実行委員会
問合せ ☎466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
☎052-832-1181(代) 担当:松浦ゆかり

神言会多治見修道院・黙想会

閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を！
3月12日(土) 10:00～13日(日) 16:00 指導:及川神父
イエスは語る「あなたは自分を変えたいと思いませんか」と 対象:信徒
4月2日(土) 10:00～3日(日) 16:00 指導:及川神父
イエスは語る「あなたは自分自身をもっと理解したいと思いませんか」と 対象:信徒
料金 宿泊費2,500円+指導者への謝礼+自由献金
食事 仕出し弁当又はスーパーで購入
申込み 神言会多治見修道院研修センター(9時～16時30分)
☎0572-22-2038 / Fax 0572-22-2076
携帯 090-7696-8089

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)から

ロザリオの祈り

日時 3月13日(日) 14:00～(40分程)
場所 聖パウロ女子修道院チャペル

「読書会」

日時 3月19日(土) 14:00～15:30
書籍 『キリスト教とは何か① 復活の秘儀をめぐって』
粕谷甲一著 女子パウロ会
場所 聖パウロ書院

☆ ☆ ☆
対象者 どなたでも参加できます。
問合せ 聖パウロ書院 ☎052-936-4443
担当 Sr.永峰、Sr.森

名古屋一日静修

神のいつくしみに学ぶ — 特別聖年を迎えて —
日時 3月21日(月・祝) 10:00～16:30 九里 彰 神父
「神のいつくしみ ～テレーズの果てしない希望～」
5月21日(土) 10:00～16:30 松田 浩一 神父
「神のいつくしみのうちに真理を学ぶ—イエスの聖テレジアの場合—」
場所 カトリック日比野教会 信徒会館
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、弁当
参加費 1,000円
申込みは、下記のいずれかの方法で。
Fax / 0568-62-5167
E-mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係り
〈カルメル修道会主催・名古屋カルメル在世会協賛〉

神言修道会 助祭叙階式

日時 3月19日(土) 10:00
会場 神言神学院大聖堂
名古屋市昭和区八雲町70-9
☎052-832-2082
司式 ミカエル松浦悟郎司教
受階者 セルファシウス・サルファノ・ジャマン
ディエゲル・アルフォンスス・アフリ

第42回 1日神学生の集い

対象 小学3年生～中学生、男子
集合 3月23日(水) 14:00
名古屋教区センター(布池教会東隣り)
解散 24日(木) 12:00頃 聖香油ミサ終了後
持ち物 着替え、洗面用具、侍者服(各教会から持参)、ロザリオ
申込み 申込書に必要事項を記入し、教会ごとにまとめて郵送またはファクス
名古屋教区本部事務局「神学生委員会」まで
〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-35
Fax 052-935-2254
3月13日(日) 締切(必着)
問合せ 教区本部事務局
または平田政信神父 ☎0568-73-7675 小牧教会

2016 世界祈禱日

キューバからのメッセージ
「子どもを受け入れなさい そしてわたしをも」
日時 3月4日(金) 受付・歌練習 10:00
礼拝開始 10:30
教派紹介 12:00
閉会 12:30
会場 日本基督教団名古屋中央教会
地下鉄東山線・名城線「栄」駅下車5番出口すぐ

ワールドユースデー in 名古屋2016

テーマ 「わすれないで」
日時 3月12日(土)～13日(日)
会場 神言会多治見修道院研修センター
岐阜県多治見市緑ヶ丘38
☎0572-22-2038
対象 18歳から35歳が基本の対象年齢です！
申込み メールで申し込みください。
主催 名古屋教区青年委員会・WYD in 名古屋実行委員会

WYD クラクフ大会巡礼団

7月下旬にポーランドでワールドユースデー(WYD)・クラクフ大会が行われる。同大会への公式日本巡礼団メンバー募集中。申込み期間は4月12日まで。

概要は以下のとおり。
コース (Aコース) 7月23日～8月2日、11日間。30万円
(Bコース) 7月23日～8月5日、14日間。35万円
(燃油サーチャージ、現地出入国税等を含む)
発着地 成田、関西、福岡(エコノミークラス)
募集人数 150人
参加資格 18歳(高校生を除く)～35歳。国籍不問。
申込方法 日本公式巡礼団事務局
☎03-5632-4480、Fax 03-5632-4465
E-mail wyd@cbcj.catholic.jp
HP http://cbcj.catholic.jp/jpn/committee/wyd/krakow/